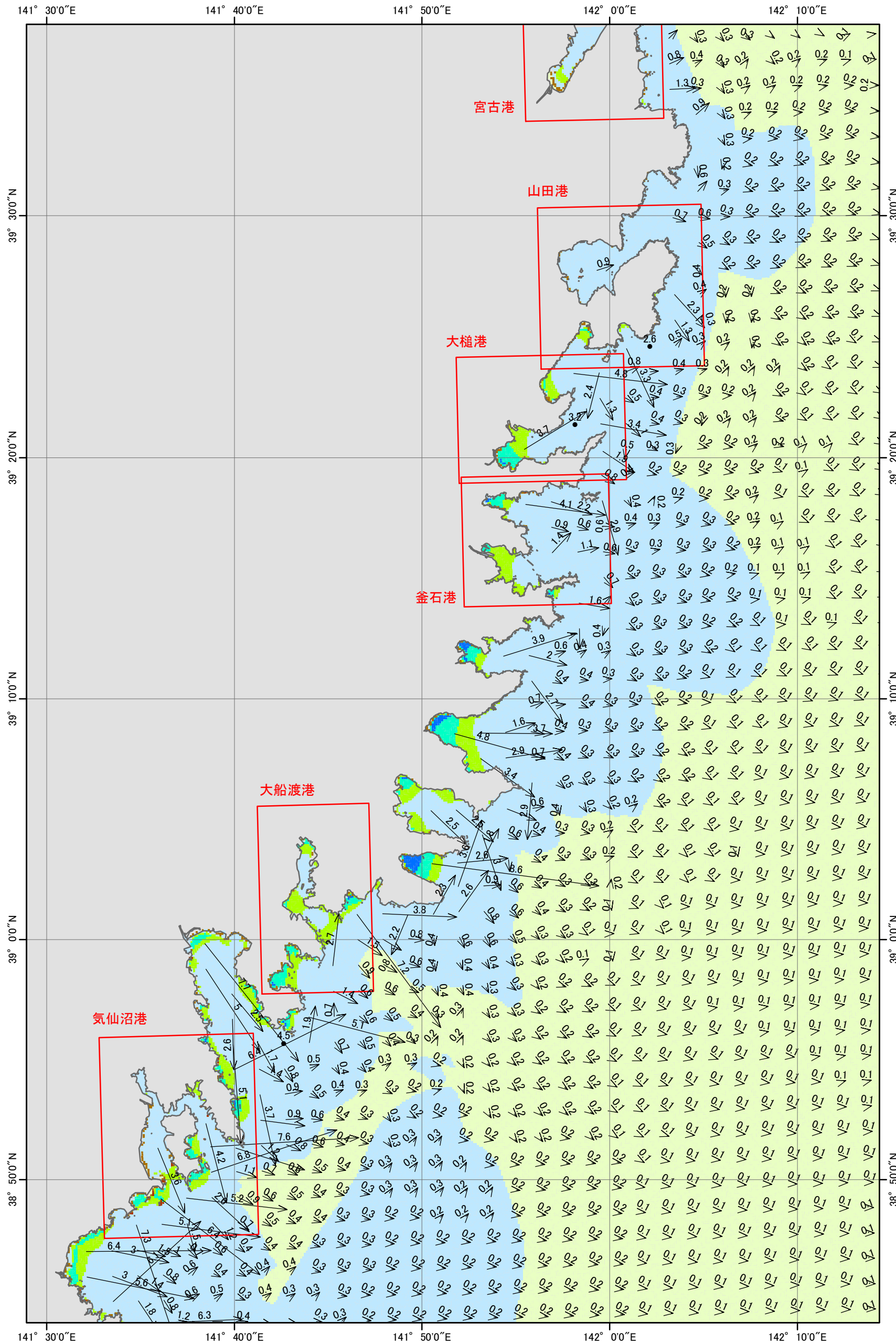


計算条件： 最低水面 (零位)
 隆起量： 平均 -0.08m(-0.16m ~ -0.02m)
 Zo： 0.86m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

- 最大水位低下
- 5~最大9.4m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- ⊙ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

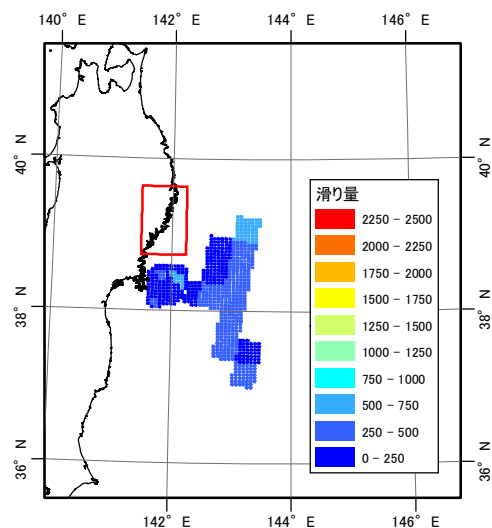
- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断層モデル



宮城県沖地震

モーメントマグニチュード Mw 8.2

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。